



奥日光の自然情報誌

# 楓通信

2022年 No.150  
9-11月号



## 自分なりの見頃

今回は秋の小田代原特集ということで、表紙を草紅葉にしました。この写真も同じ年の、ピク前年の草紅葉なのですが、皆さんは表紙とどちら、どちらが好きですか？

ビジターセンターでお客様と話していく面白いと思うのは、特に紅葉に関しては、好みになりの個人差があるということです。

紅葉というと、赤や橙など暖色が多めの景色をイメージされると思いますが、こんなふうにまだ緑が残っている、見頃の手前の方が好き、という方もいらっしゃいます（私も緑アリ派です！）。

他にも、今回の特集でもご紹介した小田代原のカラマツのように、紅葉より黄葉が見たいという方も多いです。奥日光はカラマツやミズナラが多いので、尚更かもしれませんね。

また、私たちが例年と比べて色が出ていないなあと思っていても、初めて奥日光の紅葉を見た方が「素晴らしいですね！」と大喜びでお帰りになつたりと、考えさせられます。

皆さんも『自分なりの見頃』を探してみてはいかがでしょうか。案外、緑アリ派や黄葉派かもしませんよ？

編集・ニヤギ

## 定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」 購読料 1,000円

2022年3月号(No.148)～2023年12月号(No.155)

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

### [申し込み方法]

ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

✉ yumotovc.guide@bes.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

2022年9月初旬発行 [次号 2022年12月初旬発行予定]

## 今号の特集

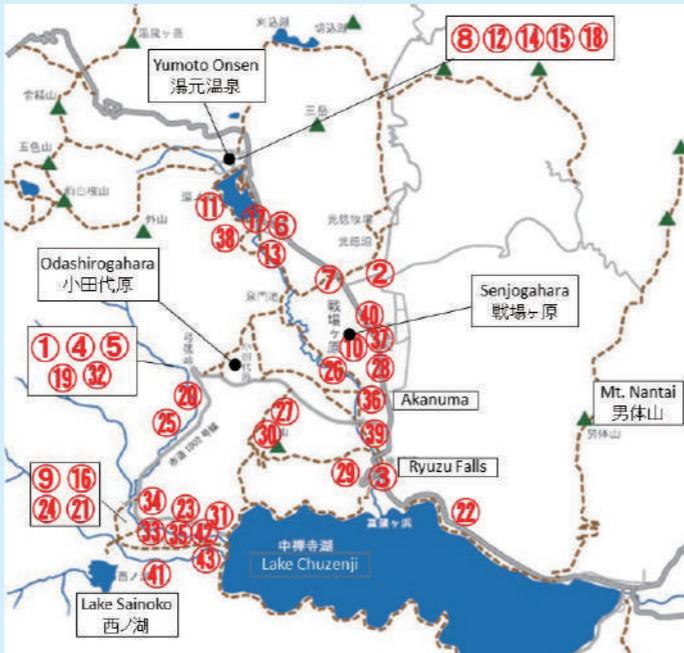
正しい知識を身に付けよう 奥日光のクマのこと  
草紅葉だけじゃない 小田代原の秋を楽しむ

小田代原の草紅葉

# 奥日光のクマのこと

右の図は、ビジターセンターのホームページに掲載している、クマの目撃情報を探した地図です。こちらは今年の7月の情報ですが、なんと1ヶ月の間だけで43件…！例年でも30件前後なので、今は特に多くの情報が寄せられました。

というわけで、お客様からよく聞かれる質問について、過去にクマの調査に関わっていたビジターセンター職員に聞いてみました！正しい知識を身に付けて、秋のハイキングを楽しんでください！



**Q** 例年目撃が多い千手の森だけでなく、湯元周辺でも件数が多くなりました。考えられる要因は何ですか？

**A** 湯元での出現に関しては、ヤマザクラが要因と考えられます。今年はヤマザクラの実が豊作で、それをクマが何度も食べに来ています。気に入った食べ物を見つけたので、湯元に多く出現していましたということです。

**Q** 戦場ヶ原など、人が多い場所にも何度か出ているようですが、クマが人を怖がらなくなってしまっているということですか？

**A** 若い個体は警戒心がうすいため、人が多いところに出てきてしまうことがあります。時季的にも、夏は親離れしたばかりの個体が多いので、目撃されているのはそういった個体だと思われます。これは、クマが生息する他の地域でも同じです。

**Q** 目撃された数だけクマが生息しているのでしょうか？

**A** 数だけ見るとビックリしますが、同じ日に同じエリアで、時間差で複数回目撃されていることが多いので、実際に生息している頭数はもっと少ないと思います。

**Q** 仔グマと成獣のクマの大きさの基準が分かりません。

**A** 犬の大きさと比べると分かりやすいです。ゴールデンレトリバーくらいなら成獣、柴犬くらいで1才から2才の亜成獣、チワワくらい小さい仔グマです。

**Q** クマ鈴は付けた方がいいですか？

**A** 必ず付けましょう。もちろん100%安全というわけではありませんが、こちらの存在を知らせることが重要です。ただし、鈴の付けすぎは厳禁！万が一クマや他の動物が近くにいた時に、逆にこちらが相手の存在を察知できなくなります。また、風や雨の強い日、滝の近くは鈴の音がかき消され、効果がほとんどなくなってしまうので注意が必要です。

**Q** 「鈴の音にクマが寄って来る」というのを聞いたことがありますか…。

**A** 少なくとも現時点の奥日光では、鈴の音に寄って来るようなクマはいないと思います。目撃された方からの情報でも、「こちらの存在に気づいて逃げて行った」というものばかりです。

**Q** クマに出会ってしまったら、どのような行動をとるべきなのでしょうか？

**A** よく言われる「ゆっくり静かに後ろに下がり、その場を離れる」ことがベストでしょう。クマは目が良くないので、ゆっくり動いている物はほとんど見えていないと言われています。急な動きや大声でクマをビックリさせないようにしましょう。しかし何より大事なのは、そもそも「バッタリ出会わないようにすること」です。前述のようにクマ鈴を付け、クマがないか周囲をよく確認しながら行動してください。

クマは食べ物を探して歩き回っているのであって  
人を襲おうとしているわけではありません。  
「奥日光はクマのすみかである」ことを理解した  
上で、お互いに距離感を保っていきましょう。



カラマツの黄葉「金屏風」



一本のシラカバ「貴婦人」



数多くの写真愛好家の方が訪れる

## 小田代原の秋を楽しむ

小田代原の秋といえば『草紅葉』が有名ですが、実はそれ以外にも、多くの写真家の方々を惹きつけるほどの様々な見どころがあります。今回は、小田代原の秋の魅力に迫ります。

### 草紅葉

小田代原の秋は、草紅葉から始まります。九月下旬から十月上旬にかけて見頃を迎え、毎年多くのお客様で賑わいます。

展望台から景色を眺めるだけでも十分楽しめますが、ぜひ小田代原コースを一周してみてください。足元の植物を注意深く見てみると、どの植物によって草紅葉が成り立っているのかが分かるはずです。意外と小さな植物ばかりなので、驚くと思います。

ただし、草紅葉の時季は平日でも人気があり、低公害バスも混雑します。最近は、車に自転車を載せて来て、駐車場から自転車で向かう方もよく見かけます。うまく混雑を回避して、少しでも快適にお楽しみください。

また、カラマツがハラハラと散る中を歩くというのも、この時季の醍醐味。晴れている日は小さな葉ひとつひとつが輝き幻想的です。風すぐに散ってしまうため期間は短いですが、そんな儂さもまた良し。

草紅葉の見頃を過ぎると、小田代原は人が少くなり、それまでの混雑が嘘のよう。静かな小田代原を楽しむにはベストな時季となります。

### カラマツの黄葉

草紅葉の見頃が終わると、シラカバの貴婦人のバックのカラマツ林が色づき出します。これがカラマツの黄葉です。黄金色に輝く様子から「金屏風」とも呼ばれます。

条件が揃った場合にのみ現れる、まさに幻の湖。局地的な豪雨や台風が立て続けに起きると出現することが多いため、大まかな時季は台風の多い九月以降の秋。しかし、毎年できるわけではなく、雨量が多くても出現しない事もあります。何やら、舞台中央にいらっしゃる貴婦人にもてあそばれているよう。

近年で湖ができるのは二〇一八年と二〇一九年。その前は二〇一年でしたので、七年ぶりの出現でした。しかし、前回は小田代原が一面水に浸かっていたのに対し、湖が小さく、草原の部分が見えていた状態だったため、関係者の間では『小田代池』と呼ばれていました。このように、たとえ湖ができるとしても、規模に大きな差があります。それがまた面白くもあり、楽しみであります。一度できてしまえば一ヶ月以上持ちますし、県内の方は地方紙にも掲載されますので、情報をチェックして、機会が合えばぜひ、幻の湖を見にいらしてください。

ただし台風や豪雨の直後は、ハイキングコースの通行止めや、交通面への影響がある場合がほとんどです。ホームページなどで情報収集をした上で、お気をつけてお越しください。

小田代原の秋が草紅葉だけではないとお分かり頂けたでしょうか?ご存知なかつた方はぜひ、様々な小田代原を楽しみにいらしてくださいね。

### 幻の湖『小田代湖』

2018年10月2日

2019年10月29日

2011年10月27日



# ビザーセンターハイイベント

~湧水シリーズ④~秋の裏スポットてんこ盛り！

10月1日(土)  
9:30-14:00

ビズターセンターのスタッフだからこそ知っている道なきルートで、秘密のスポットへご案内します！道なき道なのに険しい道ではないので、脚力に自身のない方でも歩きやすいというコスパ抜群のイベント。洞窟？滝？そこには一体何が…？！

※特別許可を得て実施※

【ルート】竜頭ノ滝臨時駐車場⇒地獄沢（周回）

参加費 4,000 円



## 世界遺産を見渡す 外山紅葉ハイキング

10月28日(金)  
9:30-14:30

「日光の紅葉を楽しみたいけど渋滞が心配…。」そんな方でも安心の、公共交通機関を利用してお越しいただくことが前提のイベント。日光の歴史に詳しい元気で明るいスタッフと一緒に、まち歩きと外山でのプチ登山を楽しみましょう～。登山に慣れていない方でも登れる上に景色も良い山なので、のんびり登山派の方や初心者さんにオススメです！

【ルート】東武日光駅前→裏まち歩き→外山登山→神橋付近（現地解散）

参加費 4,000 円



11月4日(金)  
9:00-15:30

かねだとうげ  
金田峠への古道を辿る



参加費 5,000 円

## 秋の星空観察会 2022

11月12日(土)  
20:00-21:00

標高の高い日光湯元は、星空がとってもきれいに見えます。しっかり防寒対策をして、秋の星空を楽しみましょう～。視界いっぱいの星に、感動間違いなしです！雨天時は室内でスタッフが星空観察のレクチャーを行いますので、中止にはなりません。安心してお申込みください！  
【開催場所】湯元温泉街

参加費 500 円



## お申込み先（自然公園財団日光支部）

✉ yumotovc.guide@bes.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名②令和元年～3年実施イベントの参加有無
- ③性別④年齢⑤住所（郵便番号含む）⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段